

リポートニュース

令和7年6月号 NO.277

R7年は、諸物価の高騰に伴い人件費をはじめとした生産コストの上昇に見合う売上確保が強く求められる年度です。しかしながら達成が不可能な数値目標では、「絵にかいた餅」になってしまいますので、今年度の売上目標は経費の節約、継続的なカイゼン努力と合わせて、生産性の向上が見込まれる範囲に設定しました。行動指針では、「社員の成長は会社の成長につながる」を掲げ、社員の自主性を重んじ、個々の能力を引き出す組織改革を前進させることで予想外の売上成果が生まれるプラスαを期待しています。さらにISO9001の審査員から評価された項目内容を具現化する行動を強化することで売上確保の種を育てたいと考えています。リノベートパーツの高品質で経済的な価格を維持し、この物価高騰のR7年度を乗り越えてゆきます。

豆知識 トヨタ ライズ A200A(前期 2WD)、A201A、202A(後期 2WD)、A201A(4WD) グレードZ(シーケンシャル用)のヘッドライトの年式による相違点

前期 R1.11~R3.11	刻印「AD」	見た目は同一です。違いは不明の為刻印で見分けて下さい。
後期 R3.11~	刻印「ADI」	



A200系ライズ



後期刻印

豆知識 トヨタ ルーミー M900(2WD)、M910(4WD)、年式によるフロントホースメントの相違点

前期 H28.11~H30.11	中央に取付用ステーが2個
後期 H30.11~	中央に取付用ステーが1個



前期



後期

豆知識 ダイハツ ハイゼットカーゴ S321V(2WD)(後期最終型)、S331V(4WD)(H29.11~R3.12)、グレードによるテールランプの相違点

グレード：スペシャル、スペシャルクリーンデラックス、デッキバン	外側のストップランプが赤色レンズ
グレード：クルーズ、クルーズターボ	外側のストップランプがクリアレンズ



ストップランプ：赤色



ストップランプ：クリアレンズ

中東ドバイからのバイヤー

アフリカ、ロシア、中近東などへの輸出中継点となっているドバイの中古車・中古パーツ市場は、最近、特に注目を集めてきています。来店するスリランカのバイヤーの話では、当社から部品を調達するよりもドバイ市場からパーツを入手した方がトータル的に安い！という事もあるようです。ドバイから再輸出の場合のTAXフリーと輸送コストに関係しているようです。一方、当社に買い付けに来るドバイからのバイヤーは、販売の先の多さから特定の車種に片寄らず、軽自動車をはじめ多車種に及ぶため、買い付け点数も多いのが特徴です。当社の国内品質基準外のパーツ類はドバイ経由で中東各国に流れているようです。



補修材料の継続的な見直し

有機溶剤による健康被害を防ぐための規則として、有機則(有機溶剤中毒予防規則)や特化則の対応として、シンナー・サフェーサー・パテ等の新製品が続々と販売されています。当社では、材料購買先の朝日エイジェンシーと共に新製品の情報収集に努め、日々改良される商品の積極的な導入をおこなっております。今後、この紙面で新製品の使用結果をいち早く報告してまいりますのでご期待ください。

ISO9001 定期審査報告

4月下旬、2年次定期サーペランスが2日間実施されました。審査結果は「意見」3件、「評価」3件でした。「評価」を受けた項目は、①外部環境が厳しくなる中、働く環境の整備を実施、従業員の定着率向上及び生産体制の強化に努めている。②リノベートニュースの発行により、組織の最新活動を広く周知し、組織の活動状況を理解して頂く努力を続けている。③困難な状況を克服すべく、外部環境の変化に応じた製品の多様な販売方法の構築に努めている。今後も課題やその対策状況を理解して頂き、ステークホルダーを取り込み、協力頂く等の成果が得られるよう期待します。



入荷情報の配信サービス 在庫ヒット率推移表

在庫ヒット率は、お客様から在庫問合せを受けた時点で在庫が無く、後日入荷した時点でフロントからお客様に電話連絡するサービスです

	R2	R3	R4	R5	R6
入庫数	2,267	2,213	2,348	2,410	2,527
成約数	1,495	1,523	1,656	1,758	1,894
ヒット率%	65.9%	68.8%	70.5%	72.9%	74.9%

- ①ヒット率は右肩上がりの上昇があり、安定したサービスとなっている。利用される顧客から大変高い評価を受けている。
- ②主に特定の「おこし屋さん」などが積極的にこのサービスを利用している。
- ③ユーザーへの納入期限が決まっているB S様に連絡すると「ネットで探した!」「修理が終わった!」という声が多くあり、成約に結び付かないケースが多発していた。
- ④このサービスを幅広く活用ができるように運用のカイゼンを図り、リノベートパーツの活用拡大に努める必要がある。

クレーム対策は「上流」からのカイゼンが大切

先進安全技術の普及に伴い、入荷するバンパーの多くにセンサー類の装着が一般的になってきています。裏面のセンサーを取り付ける「ツメ」の欠損で、バンパーの再利用が不可能になるケースが多発していました。

改善前：塗装課で入荷検品時に「ツメ」を保護するスチロールを壊めて、テーピングしていました。

改善後：資材部のコア回収時点で「ツメ」を保護するスチロールを壊めて、コアを回収する方法に変えました。

効果：「ツメ」の有無をチェックする時点で養生することで、「ツメ」の欠損がなくなりバンパーのスクラップ率の低減につながった。



コア回収時点



検査後

カイゼン 商品管理課

各部門の生産売上高を毎日集計することで、生産活動の推移をチェックしています。バンパーに装着されたグリルなどは、塗装課で担当するのかわかりにくく修理を必要とするのか?作業を担当した部門がわからず、フロントで集計作業が混乱していた。

改善前：在庫確認時にどちらの課で作業するか?一目で判るように記入を統一した。

改善後：塗装課扱いの場合：全体傷、ライト課扱いの場合：傷

効果：部門別の生産売上高日報の訂正がなくなった。

効果：作業先の確認をする手間や訂正が無くなり、作業効率とデターの正確性が増した。

カイゼン 環境委員会

改善前：年度始めの環境委員会の委員長の引継ぎは、これまで口頭のみで行われていました。このため年度初めでは、スクラップ業者の対応や消化器点検などの外部業者との連絡が多く、その都度、前任者に確認し円滑な業務の引継ぎになっていなかった。

改善後：環境委員会の管理内容をまとめ、業務手順をチャートにした引継ぎファイルを作成した。

効果：焼却工場のゴミ捨て予約IDなども明確になり、引き継ぎがスムーズにおこなわれるようになった。

クルマとファッションで新たな価値創造

ユニクロと初の競業店舗が東京都東久留米にオープンした。1階に中古車拠点「オートギャラリー小平Plus」、2階にユニクロが入る。この店舗は単なる店舗の融合でなく、車とファッションという異なる分野の強みを生かして新たな価値観を提供することを目的としているようです。お彼岸に混雑するお寺さんに福祉車両の展示はどうか?

